カンボジア旅行（その 1）

高橋　亮

突然になりますが、萩森先生と一緒に、6 月にカンボジアへ旅行に行って参りました。私は、初めての海外旅行ということで、最初、かなり緊張していましたが、先生の助力もあって、結果として良い思い出になりました。

カンボジアのシェムリアップという街に 4 日間滞在したのですが、凄く人間臭い、というか、生命力に溢れた街だったように思います。トゥクトゥクというバイクタクシーに乗りましたが、運転手のお兄さんはすごく親密そうに話しかけてきました。とにかく、街に出ると、トゥクトゥクの呼び込みが凄く、車やらバイクやらの交通量が多い。ガイドさんの話によると、バイクはカンボジアでは免許が不要らしく、歩いて移動することが嫌いなカンボジアの人たちは、バイクや自動車に乗っている率が高いみたいでした。

ガイドブックにはマラリヤなどの感染症にも気を付けるように、と書いてあったようですが、そもそも街中には蚊自体が存在しなかったような気がします。

気候は、かなり蒸し暑く、外で歩き回ると、汗だくになるほどでした。その点は、日本の夏に似ていますね。また、時々、雨がゲリラ豪雨みたいに降ってくることもありました。雲が広がり、空が暗くなってきたら、その兆しです。

先生の話によると、50 年前の日本を見ているようなものとのことですが、日本も昔はこの国のように生命力溢れる国だったのでしょうか？

一日目は、飛行機の乗り継ぎで費やされました。まず、お隣韓国のソウル・インチョン空港に行き、そこを経由して、カンボジアのシェムリアップ空港へ向かいました。このインチョン空港は、かなり広い空港で、